

五十嵐先生がおすすめしたい一冊！

『 だれも知らない小さな国 』

佐藤さとる^{さく}/作 村上勉^え/絵 講談社出版

あらすじ

夏休みのある日に、もちの木を探しに出かけたぼく（小学3年生）は、地元の人が近づこうとしない小山に小さな三角形の平地を見つけた。ぼくは、その小山が気に入って何度も通うようになった。そこで出会ったおばあさんから昔からこの山には「こぼしさま」と呼ばれる小人が住んでいるという言い伝えを聞く。

次の年の夏休み、女の子がうっかり流してしまった靴を探し、見つけて拾おうとするとその中には・・・

おすすめポイント

子どもの頃、私は空想の世界を想像するのが大好きでした。そんな私にとって「小人がどこかにいるかもしれない！」なんて、考えただけでドキドキわくわくでした。それも、本当に信頼できる人を選んでやってくるのです。主人公のぼくのように、秘密基地の場所を探したり、小人に会ってみたいなど思いながら生活したりしていたのを覚えています。

田舎で育った私は、小山のような環境が懐かしく、そして、主人公のぼくのように誠実に生活していきたいと、ふと思い出すお話です。

ぜひ、読んでみてください。

（ 五十嵐 忍 ）

